症状のない『今』、『子宮頸がん検診』を受けましょう！

予約
受付中

- 子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんで亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人も、1年間に約1,000人います。日本では、25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は、子宮頸がんによるものです。

当日スタッフは全員　女性　費用は1000円

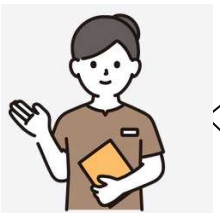
対象者	20歳以上　西暦で偶数年生まれ
日　程	11月16日（土）
時　間	午後１：００～２：００
会　場	総合会館

申し込み締め切り　11月14日（木）

予約・お問い合わせ　保健予防係　０２６－２５５－３１１２

子宮頸がんチェック

- ☑ 性行時に痛みがある
- ☑ 月経以外に出血がある
- ☑ おりものが増えた
- ☑ 足腰に痛みがある
- ☑ 血尿・血便が出る
- ☑ 尿が出にくい
- ☑ 下腹部に痛みがある



女性特有のがんは定期的に検診を受ける他、日頃のセルフチェックを行うことも大切です。左記のチェックに当てはまるような不調を感じた時には速やかに婦人科に相談しましょう

『HPVワクチン』公費による接種は令和７年３月末まで！

対象となる方々について

・次の2つを満たす方が、あらためて接種の機会をご提供する対象となります。

- ➡ 平成9年度生まれ～平成19年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日）の女性
- ➡ 過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない

接種は合計３回で、完了するまでに約６か月間かかるため、接種を希望する方はお早めの接種をご検討ください。予診票を紛失した場合は保健予防係TEL０２６－２５５－３１１２までお声かけください。

若者のみなさん、『献血』にご協力を！

献血は、病気の治療や手術などで輸血や血漿分画製剤を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。
輸血に使用する血液は、まだ人工的に造ることができず、長期保存することもできません。
このため、輸血等に必要な血液を確保するためには、一時期に偏ることなく献血にご協力いただく必要があります。

少子高齢化は献血事業にも影響を与えていて、10代～30代の若年層の献血者数はこの10年間で約30％程度も減少しています。今後も患者さんに血液を安定的に届けるためには、今まで以上に皆さんのご理解とご協力が不可欠です！！
献血は身近でできる大きな社会貢献。この機会に献血に行ってみませんか？

★長野献血ルーム　026-219-2480

※受付時間等詳細は配布した絆創膏裏面をご覧ください

★献血バス　信濃町役場　9月12日　15：15～16:30

※申し込み不要 当日役場におこしください

『若者健診』、申し込み受付中！

自覚症状のない今こそ健診を受けませんか？

対象者	20歳以上
日　程	9月24日（火）
時　間	８：３０～１１：００
会　場	総合会館
料　金	基本コース　1,000円

基本コース：身長、体重、尿検査、血液検査（生活習慣病予防）

予約・お問い合わせ　保健予防係　０２６－２５５－３１１２